

## コンピュータの構成

「動作」させるのに何が必要か？

- これまでの授業(個別パーツ)のまとめ
- パソコン構成についての実習用紙の項目をもう一度確認してみる  
(授業序盤でも考えました)
- 使用しているPCで確認してみる  
「デバイス マネージャ」「コンピュータ プロパティ」など
- 既に、レポート課題や、一覧リスト(4月)、パーツ選定(各授業)などの課題済み



## パーツを確認してみよう

実際にパーツ選びながら・見ながら必要なもの確認(再)

## PCのパーツ選び

- 自作といっても・・・
  - ・全く何もない0から組み立てるわけではない
  - ・ブロック化・モジュール化されている既存品・規格品の「組み合わせ」
  - ・パズル?料理などに似ている??(つまりルールはある)

確認) PC 購入方法

- ・メーカー製のPCを購入する
- ・BTO で PC を購入する。 ← ホワイトボックスPC・ショップブランドPC
- ・PCパーツを買いそろえてPCを組み立てる。

## パソコン自作のメリットとは？

- ・ 価格の安さ？ (以前ほどの差はなくなった)  
特に高性能な PC の場合に自作の方が安上がり (高性能な PC を安い価格で作れる)

- ・ パソコンの拡張性

アップグレードが容易 (含 故障率が高い部品を交換 など)  
部分的な改善も可能なので、長期的に見ればさらに安上がり  
→ 製品寿命の短さへの対策？

授業で「PC 組み立て  
実習」を取り入れるの  
は、まさにこの点の効  
果を期待してなので  
す！

- ・ 必要な機能を (だけを) 搭載可能

目的に応じて、自分が欲しいパソコンが作れる  
最新技術を搭載可能  
OS なども選択可  
自由度が高い・カスタマイズ可能  
→ DIY は楽しいこともある



- ・ **パソコンに詳しくなれる**

パソコンに対する正しい知識・仕組みの理解  
トラブルを解決するのに役に立つ知識

↓ ↑

ただし、基本的に**自分で**解決しなければならない (自己責任)

→ もっとも、メーカー品であっても構成をさわれば、補償対象外になる  
初心者には敷居が高い

## 実習) PC パーツの選定 (動作するパソコンセット・値段を選ぶ)

パソコンを組み立てる上で必要な部品を選定してみましょう

- 1) 「必須パーツ」は何か？
- 2) それぞれがどれくらいの価格なのか？
- 3) セット・トータルでいくらになるのか？

選定の際に注意すること

### パーツの組み合わせ

→ 全く自由に選べるわけではありません

- ・ CPU - マザーボード - メモリ
- ・ インターフェース - ハードディスク

**可能な組み合わせなのか**を確認しながら選ぶ

**BTO** : ( Build To Order : 注文にあわせ組立て )

- ・ 選択肢が限られている (組み合わせが決まっている)
- ・ 組み合わせ相性のトラブルが少ない
- ・ 全体構成の見直しが容易

→ **カスタマイズ**



メモ) 種類が多くて選べない?? 適切に「選び」ましょう!!

コンピュータのパーツはいっぱい

⇔

ビジネスライフ学科の科目はいっぱい

↓

組み合わせを選んで1つのPCセットに

↓

組み合わせを選んで1つの履修セットに